

令和5年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		活動に応じて場所を分け、有効にスペースを使うように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は十分に満たしています。利用者さんの実態に応じた職員配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			手すり等の設置をしています。利用者さんの実態に合わせ、必要な配慮を行っています。
	4	子どもにとって危険が伴うような、施設や備品の損傷・故障などないか。	○			点検し、危険個所がないようにしています。
業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表を活用しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		苦情解決第三者委員会を設置しています。また理事会に意見を伺っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業者内講師による研修、および外部機関の主催する研修へも積極的に参加しています。
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズをお伺いし、支援計画に反映しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			医療機関等での検査結果を活用しています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援しているか	○			

切 な 支 援 の 提 供	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの実態に応じ、支援計画を作成しています。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前にミーティングを実施しています。
	15	支援終了後にその日の支援での気づき、引き継ぎ等を伝達しているか	○			日誌等で引き継ぎをしています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録、日報に記録し、検証、改善へとつなげています。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、見直しをしています。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者または子どもの状況に精通した職員が参加しています。
	20	学校の年間計画、行事予定等、子どもの下校時刻、送迎の方法などを確認しているか。	○			保護者さん、学校を通じ確認をしています。
	21	学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか。		○		学校公開に参加していますが、一部の学校に限られました。学校との連携を密にし様子の把握に努めています。
	22	学校と支援会議などを行って、子どもについて意見交換、情報共有をおこなっているか。	○			学校との支援会議には必ず参加しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			支援会議や見学を行い、支援や情報の引き継ぎをしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			情報の引き継ぎをしています。
	25	協力してもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどの緊急の事態に対応できるようにしているか。	○			協定を結んでいます。
	26	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			子ども部会、全員協議会へ参加しています。

	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
実践的な力量の向上	28	子どものことがわからないと感じた時、傍観するのではなく、働きかけて変化を作り出し、理解しようとしているか。	○			
	29	子どものことがわからないと感じた時、独りよがりの判断をせず、他の職員に意見を聞くなどしているか。	○			
	30	子どもの「不適切行動」に出会う時、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか。	○			
	31	気持ちの育ち(人格の形成)にはその子特有のテンポがあるということを押さえて、子どもを理解しようとしているか。	○			
	32	遊びや生活を通じて、子どもの育ち(人格の形成)を図っていくことを意識して、子どもにはたらきかけているか。	○			
	33	子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画を半年に1回は見直しているか。	○			
	34	会議や研修会を定期的に関き、子どもの理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか。	○			支援会議、職員研修会を実施しています。
	35	子どもの理解や実践についての外部の研修会や講座に参加して、意識を高めようとしているか。	○			積極的に参加しています。
	保護者への説明責任	36	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
37		保護者との面談を行うなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか。	○			面談、支援会議、送迎時など随時ご意見を伺っています。
38		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
39		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は1回開催しました。次年度は回数を増やしていく予定です。
40		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決体制は整備しています。

・ 関 係 づ く り	41	定期的におたよりを発行し、活動概要や行事予定、連絡事項等を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回おたよりを発行しています。
	42	個人情報に十分注意しているか	○			
	43	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			招待はしていませんが、地域に積極的に出かけています。
非 常 時 等 の 対 応	45	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、虐待防止マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	46	子どもの事故やケガにつながるおそれを感じた時は、責任者に報告しているか。	○			責任者に報告するとともにヒヤリハット事例として記録し、周知しています。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練をしています。
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会による検討、および職員研修を行っています。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正委員会にて協議し、保護者の同意を頂くようにしています。
	50	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	51	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を作成するとともに職員研修にて共有、対策を協議しています。